

ジャガイモ由来アピラーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1268

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 アピラーゼはすべての真核生物および一部の原核生物に存在します。ジャガイモ由来のアピラーゼは、成長と発達の調節において重要な役割を果たします。アピラーゼは、神経刺激に続いて神経伝達物質としてのATPの不活性化や、血栓症を防ぐためのADP誘導の血小板凝集の抑制に関与しています。活性には二価金属イオンが必要で、最も良い活性は5 mMのカルシウムイオンで観察されます。

用途 ATPからAMPへの高効率な分解。サイクル間のDNAパイロシーケンシングにおけるデオキシヌクレオチドの除去。5'トリフォスフォリル化RNAを5' RNAアダプターリゲーションに使用できるリガブルなモノフォスフォリル化形態に交換。5'トリフォスフォリル化RNAを5'エキソヌクレアーゼXRN-1感受性のモノフォスフォリル化RNAに交換。

別名 ATP-二リン酸加水分解酵素; アデノシン二リン酸加水分解酵素; ADPase; ATP二リン酸加水分解酵素; アピラーゼ; EC 3.6.1.5; 9000-95-7

製品情報

種	ポテト
由来	E. coli
形態	50 mM NaCl、20 mM MES (pH 6.5 25°C)、0.1 mM CaCl ₂ 、1 mM DTT、0.1% Tween-20、及び50% グリセロール。
分子量	47 kDa
活性	3,000 ユニット/mg
濃度	500 ユニット/ml
単位定義	1単位は、30°Cで1分間に50 µlの総反管で1Xアピラーゼ反管バッファー中のATP (1 mM) から1 µmolの無機リン酸を放出する触媒としての酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 -20°Cで